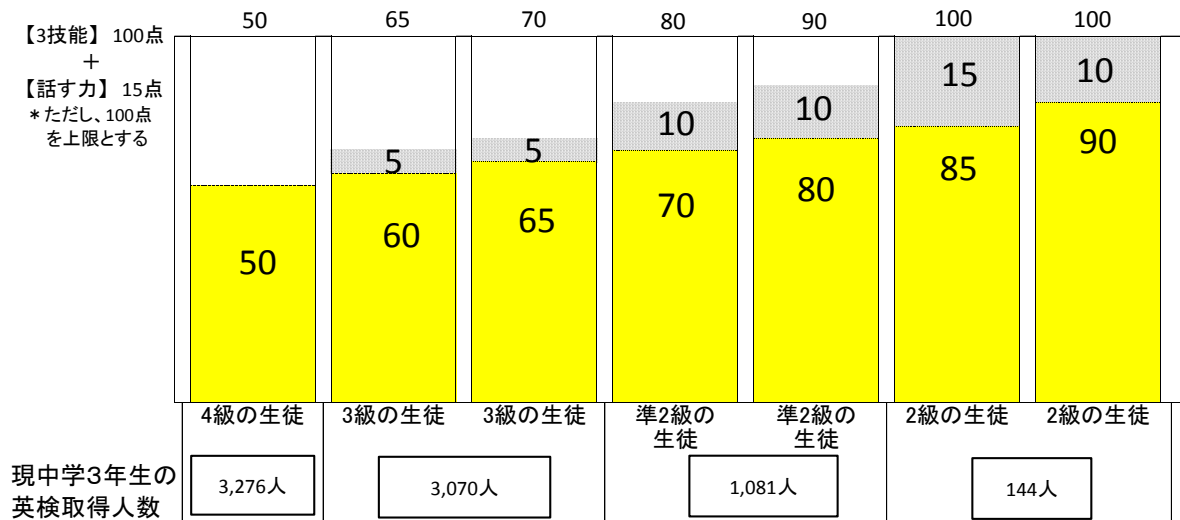


平成30年2月8日
 高校教育課

高校入試(英語)の今後の対応について

1. 平成29年度(30年度高校入試) (現中学3年生)

【英検取得級ごとの生徒の得点分布 イメージ図】



2. 平成30年度(31年度高校入試) (現中学2年生)

○平成30年度入試結果の分析を行い、平成30年4～6月に中高の校長会の意見を聞いたうえで、英検加点を検討し反映

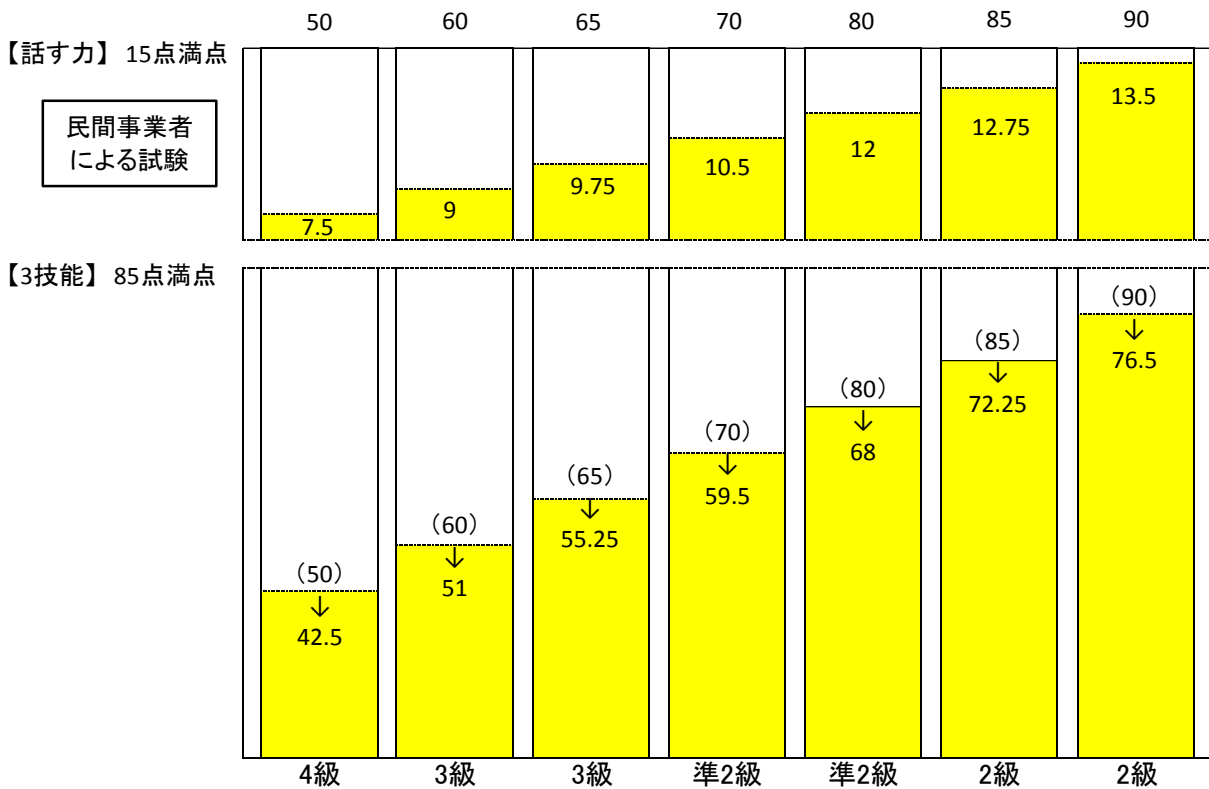
【分析内容】

- ・英検取得者の取得級ごとの受験者数、合否の状況
- ・100点上限による加点の状況
- ・合格者の取得級と塾通いの状況
- ・加点制度の合否への影響

○話す力の評価については民間事業者によるSpeaking Testの試行を実施

将来案

○話す力の評価については民間事業者による Speaking Test を導入



【導入に向けての検討課題】

- ・適切な民間事業者の選定
- ・中学校学習指導要領との整合性
- ・Speaking Testの点数の妥当性と中学校における成績の相関
- ・実施時期、受験会場、監督者等の実施体制の整備
- ・受験者の費用負担

- * 民間事業者によるSpeaking Testについては、平成30年度に試行
- * 3技能と民間事業者によるSpeaking Testの点数配分は今後検討予定
- * 英検取得推進の方策については今後検討予定